

企画展『灰釉陶器—平安時代の美濃焼—』

①美濃窯の隆盛

美濃窯の始まりは飛鳥時代（7世紀前半）の「須恵器」生産までさかのぼります。しばらくの間は、地元の需要の一部を満たす程度の細々とした営みが続き、窯業地というには程遠い状況でした。しかし、平安時代（9世紀後半）に猿投窯（愛知県）から「灰釉陶器」の生産技術を導入したことによって状況は一変します。美濃窯の成長の原動力となったこの灰釉陶器は、草木灰を原料とする人工釉薬「灰釉」を用いた日本初の高火度施釉陶器でした。

9世紀後半に当時の可児郡内の狭い地域（現在の多治見市北丘町・大針町付近）で始まった灰釉陶器生産は、やがて周辺地域へと拡大します。窯数が急増する10世紀前半から後半にかけて、土岐郡内と恵那郡内にも複数の窯場が生まれました。この美濃窯の隆盛に反比例するように猿投窯は衰退していき、美濃窯の製品が日本全国へと広く流通するようになります。美濃窯はこの灰釉陶器生産によって、今日まで続く日本屈指の大規模窯業地としての地位を確固たるものとしたのです。



大針4号窯出土の短頸壺
(9世紀末～10世紀初め)



虎渓山1号窯の出土品
(10世紀後半)

※ともに多治見市教育委員会蔵

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎555711



文化プラザ

好評発売中

秋川雅史コンサートツアー AMORE

日時 12月23日(土・祝)
14:00開演 (13:30開場)
場所 サンホール
入場料 4,500円(当日5,000円)〈全席指定〉

※未就学児は入場できません。



公募により集まったAMORE合唱団の指導にあたる秋川さん (11月26日)



【文化プラザ】 窓口販売・電話受付／9:00～20:30
【チケットぴあ】 ☎0570-02-9999 Pコード: 343-016 (秋川雅史)

